

困ったときの知恵袋

No005-3

【相談】



困ったときの知恵袋 No. 005-2 にて、ロールタップで加工しためねじの内径チェックに切削タップ用下穴チェックピン CPC-S が使用できるのは分かったけど、ロールタップの下穴チェックピンはないの？

【回答】

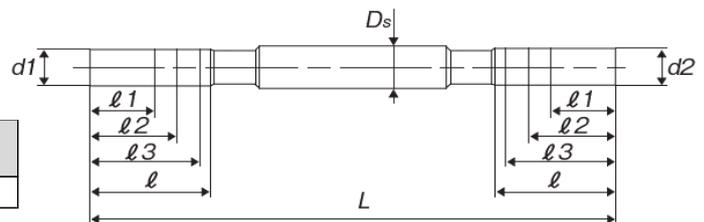
ロールタップ用下穴チェックピン としてストレートタイプのCPR-SとテーパタイプのCPR-Tがありますよ！



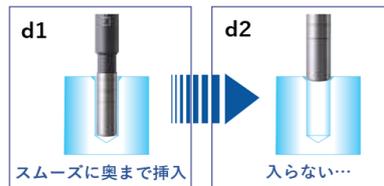
【ストレートタイプ CPR-S 例：M6X1の場合】



呼び	L (mm)	ℓ (mm)	d1 (mm)	d2 (mm)	ℓ 1 (mm)	ℓ 2 (mm)	ℓ 3 (mm)	Ds (mm)
M6X1	73	16.5	5.49	5.59	9	12	15	6



※6Hめねじ内径規格 Min 4.917 Max5.153

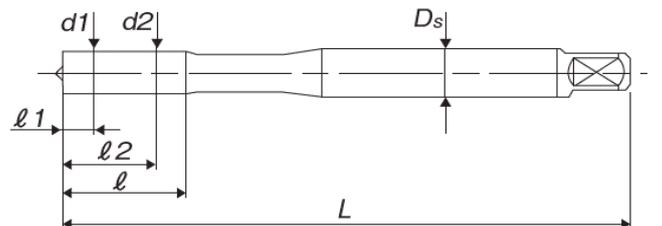


CPR-Sは両頭形状になっており、M6X1の場合は、
d1が5.490(盛り上り後の予想内径 4.917 ひっかかり率100%)
d2が5.590(盛り上り後の予想内径 5.134 ひっかかり率80%)となっています。
下穴にd1が入り、d2が入らない事で適正な下穴であるか判断する事が出来ます。

【テーパタイプ CPR-T 例：M6X1の場合】



呼び	L (mm)	ℓ (mm)	d1 (mm)	d2 (mm)	ℓ 1 (mm)	ℓ 2 (mm)	Ds (mm)
M6X1	61.5	16.5	5.49	5.59	3.75	12.75	6



CPR-Tはテーパ形状で、合格ラインの最小がd1、最大がd2となっており、
d1が5.490(盛り上がり後の予想内径 4.917 ひっかかり率100%)
d2が5.590(盛り上がり後の予想内径 5.134 ひっかかり率80%)となっています。
d1とd2の間に収まる事で適正な下穴であるか判断する事が出来ます。